



第40期 株主通信

(2014年4月1日から2015年3月31日)

CONTENTS

トップインタビュー	P01
連結財務データ	P04
グローバルネットワーク	P05
コーポレートデータ	P06
新技術紹介 / ホームページのご案内	裏表紙

40th
MEIKO REPORT

証券コード：6787

株式会社 メイコー



株主の皆様におかれましては、平素より当社の事業につきまして格別のご支援とご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第40期(2015年3月期)MEIKO REPORTをお届けするにあたり、当期の事業の状況と今後の経営戦略についてご説明いたします。

代表取締役社長

亀井 健一

経営課題に積極的に取り組み、経営体制の強化を図ってまいります。



当期の事業環境と業績について
お聞かせください



国内海外ともに市場は改善の兆し
増収となるも収益悪化により損失を計上

当社グループを取り巻く事業環境は、世界経済で見るとBRICs諸国が勢いを失ってきたものの、米国、欧州さらにアジア各国では緩やかながら景気の回復、拡大傾向が続きました。また国内経済においても下半期では、個人消費の持ち直しや企業収益の回復に加えて雇用・所得環境にも改善が

見られました。

当社グループの主要な取引先である自動車業界では、世界的に好調な自動車需要を背景に市場は堅調に推移しました。またエレクトロニクス業界は、中国を中心とするスマートフォン関連市場が好調に推移しています。

このような環境のもと、当社グループでは、経営資源を好調な車載や海外のスマートフォン用基板の生産に集中し、さらに新規顧客を積極的に開拓することで売上の拡大を図りました。しかしなが

当期決算のポイント

決算概要 (前期比)	前期比で増収減益 売上高117億円増、営業利益38億円減
プラス要因	販売は好調に推移 車載向け基板、スマートフォン向け基板の堅調な伸長
マイナス要因	歩留りの悪化および不採算品による収益悪化 ・変動費、固定費の増加 ・納期対応によるイレギュラー輸送費の増加 労務費単価のアップ

ら、収益については製品の歩留り悪化と、それに起因する廃棄損・固定費の増加、一部海外顧客の受注の減少、さらに為替の影響による輸入コストの増加等が大きく圧迫しました。

これに対し当社グループは、生産面において歩留り改善のための諸施策を強力に推し進めると同時に、人材の適正配置と教育の徹底、生産体制の見直し、グローバル調達による材料コストダウン等の施策をおこなうことで固定費、変動費の削減を図りました。販売面では、受注品目の適正化や物流コストや管理諸経費を見直し、さらに役員の給与カット等も実施することで販売管理費等の削減に努めました。このように収益改善にグループ総力をあげて取り組みましたが、当期の終盤になって効果を上げはじめたものの、それまでの収

益悪化を取り戻すにいたらず、結果として売上高は増収となったものの、廃却不良の増加および不採算品による収益悪化に加え、労務費単価の増加により大幅な損失となりました。

 **今後の経営戦略について
お聞かせください**

 **激化する競争でも負けない持続的成長
を目指した体制の構築を目指す**

今後の事業環境として、自動車市場では自動走行や安全、安心、環境やエコ化の追求等による電子化のさらなる進展、スマートフォン等の携帯端末市場における新興国への普及の拡大等により今後も成長が継続していくものと考えられます。

当社グループでは、これらの市場を確実に捉え

てグローバルに事業規模を拡大するとともに、グループの収益力を高めて持続的な成長の実現を目指します。しかしながら、これら成長市場は国内外の競合各社が、自社の技術力を高めつつ強いコスト競争力を背景に参入してくるため、競争はますます激化するものと予想されます。

その状況において当社グループは、「顧客に最高の価値とサービスを提供し社会に貢献する」という経営の基本方針のもと、下記の経営課題に積極的に取り組み、事業の成長を果たしてまいります。

これらの施策に全力で取り組むことにより当社の企業価値の創造と、持続的成長を実現できる体制を構築してまいります。

2014年度 連結決算概況

2014年度 業績実績 (億円)		前期比 (億円)
売上高	909.0	+116.6
営業利益	△28.7	△37.9
経常利益	10.8	△8.6
当期純利益	△95.7	△96.0

メイコーの取り組む経営課題

生産体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・国内、中国、ベトナムの各生産拠点における品質管理の強化 ・コスト低減技術の開発によるコストダウンの推進
新規顧客獲得、既存顧客の取引拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・シェアを拡大している海外有力顧客の獲得 ・独シュバイツァーエレクトロニック社との連携による欧州顧客との取引拡大
経営体質の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・目標管理を徹底し、固定費や販売管理費を根本から見直し ・グローバル販売体制の最適化

**Q 次期の取り組みについて
お聞かせください**

**A 変化する市場動向を見極めつつ、
経営体質の強化を最優先とし、収益回復
に努める**

次期に向けて、当社グループを取り巻く経営環境につきましては、自動車業界では車自体の販売数の増加に加え、自動走行や安全にかかわる機能の充実等、車載関連の堅調な拡大が見込まれます。またスマートフォン関連機器も中国を中心とした市場の拡大が見込まれる一方で、中小メーカーの台頭や製品単価の下落によるコスト圧力が想定されます。

当社グループでは、このような市場環境に対し、以下の重点推進施策に取り組みつつ、成長市場に

おける新規顧客の積極的な開拓と既存顧客への受注拡大を目指してまいります。一部成長が不透明な市場においては、市場の動向を見極めながら事業を推進してまいります。収益については、これまで注力してきた歩留りの改善や生産性の改革を最重点課題として進めるとともに、目標管理を徹底し固定費や販売管理費などを根本から見直し、経営体質の強化を図ってまいります。

**株主の皆様へのメッセージを
お願いします**

**A 株主の皆様への安定的な配当の維持と、
持続的な企業価値の向上に注力**

当社は、株主の皆様に対する利益向上を経営の重要課題の一つとし、利益配分は経営成績等を総

合的に勘案し、安定的な配当の維持に努めています。内部留保は、将来にわたる株主の皆様への利益を確保するため、経営基盤をより一層強化、充実するための投資に充当し、今後の事業展開に役立てることを基本方針としています。

当期の剰余金の配当につきましては、連結業績の経営成績を鑑み、誠に遺憾ながら中間に引き続き、配当を見送らせていただくことになりました。

当社を取り巻く経営環境は変わらず厳しいものの、株主の皆様をはじめすべてのステークホルダーのご支援、ご期待に応えるべく、施策に対して全力で取り組み、企業価値の向上と持続的な成長に努めてまいります。今後とも一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2015年度 連結決算の見通し

2015年度 業績見通し (億円)		当期比 (億円)
売上高	955.0	+46.0
営業利益	20.0	+48.7
経常利益	6.0	△4.8
当期純利益	△6.0	+89.7

用途別見通し (億円)



■ 車載	445	460
■ スマートフォン	182	219
■ ストレージ	53	67
■ デジタル家電	47	29
■ その他基板	114	109
■ 基板以外	68	71

品種別見通し (億円)



■ 両面板	76	72
■ 4層板	339	324
■ 6層板以上	140	152
■ ビルドアップ	257	326
■ その他基板	29	10
■ 基板以外	68	71

2015年度 重点推進施策

- 1 歩留り改善
- 2 車載用HDI基板受注の拡大
- 3 固定費比率および販管費比率の低減
- 4 自動化投資も含めた労働生産性の改善
- 5 プロセス改善による工程変動費の削減
- 6 現地化の加速

売上高

90,895 百万円

(百万円)
100,000

50,000

0



営業利益 / 営業利益率

△2,865 百万円

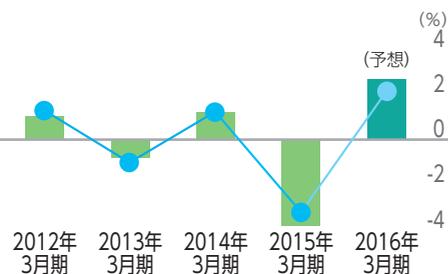
(百万円)
3,000

1,500

0

-1,500

-3,000



当期純利益 / 当期純利益率

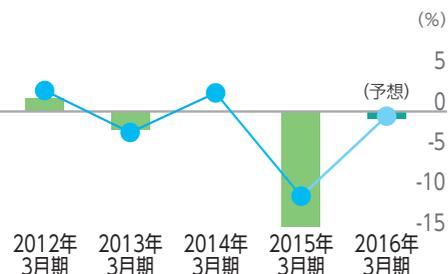
△9,573 百万円

(百万円)
5,000

0

-5,000

-10,000



連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前期末 2014年3月31日現在	当期末 2015年3月31日現在
資産の部		
流動資産	42,740	51,547
固定資産	72,686	71,416
有形固定資産	67,578	64,914
無形固定資産	454	293
投資その他の資産	4,653	6,208
資産合計	115,426	122,963
負債の部		
流動負債	36,910	47,119
固定負債	33,808	37,222
負債合計	70,719	84,341
純資産の部		
株主資本	41,058	31,354
資本金	12,888	12,888
資本剰余金	14,809	14,809
利益剰余金	13,756	4,052
自己株式	△396	△396
その他の包括利益累計額	3,648	7,267
その他有価証券評価差額金	97	131
繰延ヘッジ損益	△81	△161
為替換算調整勘定	3,765	7,453
退職給付に係る調整累計額	△133	△155
純資産合計	44,707	38,622
負債純資産合計	115,426	122,963

連結損益計算書

(単位: 百万円)

	前期 2013年4月1日～ 2014年3月31日	当期 2014年4月1日～ 2015年3月31日
売上高	79,231	90,895
売上原価	69,023	83,063
売上総利益	10,208	7,832
販売費および一般管理費	9,285	10,697
営業利益又は営業損失(△)	922	△2,865
営業外収益	2,342	5,347
営業外費用	1,333	1,406
経常利益	1,931	1,075
特別利益	700	260
特別損失	384	9,695
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	2,247	△8,360
法人税等	2,224	1,213
少数株主損益調整前当期純利益又は 少数株主損益調整前当期純損失(△)	23	△9,573
当期純利益又は当期純損失(△)	23	△9,573

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前期 2013年4月1日～ 2014年3月31日	当期 2014年4月1日～ 2015年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,426	2,238
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,020	△ 6,986
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,186	4,860
現金および現金同等物に係る換算差額	378	619
現金および現金同等物の増減額(△減少)	△ 29	731
現金および現金同等物の期首残高	8,788	8,759
現金および現金同等物の期末残高	8,759	9,490

グローバルな顧客ニーズに応える メイコーの生産・販売体制

■ 生産拠点 ◆ 研究開発 ● 販売拠点 ▲ 関連会社



会社概要

商号	株式会社メイコー
設立	1975年11月25日
本店所在地	神奈川県綾瀬市大上5-14-15
資本金	12,888百万円
従業員数	10,895名(連結) (国内862名)(海外10,033名)
主な事業内容	電子回路基板等の設計、製造販売およびこれらの付随業務の電子関連事業

役員

代表取締役社長執行役員	名屋 佑一郎
取締役専務執行役員	名屋 精一
取締役専務執行役員	平山 隆英
取締役専務執行役員	篠崎 政邦
取締役	佐藤 国彦
取締役	Maren Schweizer
取締役	申 允浩
常勤監査役	伊豫本 齊
監査役	月井 啓之
監査役	越村 安信

関連会社

株式会社山形メイコー	電子回路基板の製造
株式会社エム・ディー・システムズ	電子回路基板の設計
株式会社メイコーテック	電子回路基板の販売
名幸電子(広州南沙)有限公司	電子回路基板の製造販売
名幸電子(武漢)有限公司	電子回路基板の製造販売
名幸電子香港有限公司	電子回路基板の販売
Meiko Electronics Vietnam Co., Ltd.	電子回路基板の製造販売
Meiko Electronics Thang Long Co., Ltd.	電子回路基板の製造
MDS Circuit Technology, Inc.	電子回路基板の設計
Meiko Electronics America, Inc.	電子回路基板の販売
Meiko Electronics Europe GmbH	電子回路基板の販売

株式情報

発行可能株式総数	63,200,000株
発行済株式の総数	26,174,076株 (自己株式 629,244株を除く)
株主数	6,936名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
名屋 佑一郎	4,699	18.0
PLEASANT VALLEY	631	2.4
名幸興産株式会社	608	2.3
有限会社ユーホー	521	2.0
名屋 晴行	488	1.9
株式会社SBI証券	482	1.8
名屋 精一	442	1.7
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	437	1.7
HILLCREST, L. P.	379	1.5
株式会社三井住友銀行	377	1.4

※当社は、自己株式 629,244株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。
また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
公告の方法	電子公告の方法により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告が行えない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載URL: http://www.meiko-elec.com/ir/pa.shtml
上場証券取引所	東京証券取引所 JASDAQ(スタンダード)
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
(インターネットホームページURL)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会

証券会社の口座をご利用の株主様は、住所変更等のお手続きは、取引証券会社にご照会ください。
証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

ホームページのご案内



TOPページ



CSR報告書

製品紹介(身近なマイコー)

当社ホームページでは最新のIR情報、ニュースリリースの他、製品紹介やCSR情報もご覧いただけます。

当社ホームページもご活用ください。

マイコー

検索

<http://www.meiko-elec.com/>



未来の自動車とマイコー

快適

カーナビゲーションシステムが登場した当時、見知らぬ土地でも地図を読まなくても運転ができる便利さに驚いた方もおられると思います。しかし、現在では運転者の興味がありそうな情報をリアルタイムで配信しながら、道案内してくれるのが当たり前になってきました。

環境

環境に優しい自動車の開発は進み、低燃費のハイブリッド自動車の代わりとなる電気自動車や水素自動車なども発売され始めました。

安全

安全性への追求から、運転支援システムは標準装備となり、運転者の運転テクニックによらず安全なドライブを楽しむことができます。



それでも自動車の進化は止まりません。これから10年も経たない間に、自動車は完全自動化運転の時代を迎えると予想されています。自動車は運転者の意思のまま安全に人を運搬するツールになると同時に、スマートフォンのように多機能な通信マシーンになるのではないのでしょうか。

未来へ

マイコーには進化する未来の自動車を支えるための、電子回路基板の幅広い新技術、国内・海外工場の高い生産能力、そして創立40年の歴史とノウハウがあります。

新技術紹介

「高周波ハイブリッド基板」

■ ぶつからない自動車～ADASの技術～

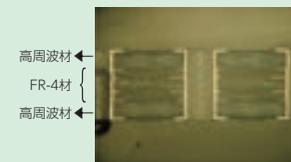
ADASとは自動車の先進運転支援システムのことで、他の車両などに追突しそうになる直前に自動ブレーキを作動させて停止させる、前を走る車両と一定の間隔を保ったまま追従する、車線からはみ出さないようにステアリングを制御する、といった機能を実現します。

■ ADAS向けの電子回路基板

このADASにはセンサーから画像処理エンジンまで多様な技術が必要とし、障害物感知レーダーの部分には特殊な高周波材を使った電子回路基板が使用されています。高周波材は伝送特性が非常に良いため、悪天候に強く、遠距離を感知できるレーダーなど、高性能車載機器に対応できます。

■ マイコーの新技術～低コスト化・配線の自由度を向上～

マイコーはこの高周波材の電子回路基板にさらに改良を加え、「高周波ハイブリッド基板」^{*1}を開発しました。この高周波ハイブリッド基板は、高価な高周波材と通常材を独自の技術で積層、非貫通穴構造^{*2}をつくることで、低コスト化および配線の自由度を向上させました。



*1 高周波ハイブリッド基板



*2 非貫通穴構造

マイコーはお客様の様々なニーズを踏まえながら研究開発を推進し、皆様の未来を支えていきます。



株式会社 **マイコー**
 本社 〒252-1104 神奈川県綾瀬市大上5-14-15
 TEL : 0467 (76) 6001 (大代表)
 ホームページ <http://www.meiko-elec.com/>

見直しに関する注意事項

本報告書に記載されている情報につきましては、当社の計画、業績など将来の見直しに関する記述が含まれており、これらの記述は、その時点で入手可能な情報および当社が合理的であると判断する一定の前提条件に基づいています。実際の業績は、様々な要素により、これらと異なる結果となり得ることをご承知おきください。



この冊子は環境保全のため、植物油インキとFSC®認証紙を使用しています。見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。